

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2013年2月8日

2月8日(金)にがん進展制御研究所棟 4階会議室において、神戸大学 大学院医学系研究科 西田 満准教授を迎え、「がんの進展と炎症病態におけるRor受容体型チロシキナーゼの役割」と題して、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、Ror遺伝子欠損マウスでの腎臓の形態形成異常、慢性腎不全の病態形成におけるRorの意義、Rorを介したがん細胞の浸潤促進などについて研究成果をご紹介いただきました。西田先生はがん進展制御研究所の共同研究課題の研究も進められています。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら25名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



がん進展制御研究所セミナー

演者：

西田 満先生

(神戸大学大学院医学系研究科・准教授)

演題：

**がんの進展と炎症病態におけるRor
受容体型チロシンキナーゼの役割**

日時：2013年2月8日（金）17:00 - 18:00

場所：がん進展制御研究所 4階会議室

西田先生は Ror ファミリー受容体型チロシンキナーゼによる non-canonical Wnt シグナル制御の生理機能の研究で先頭を進んでいます。Wnt (5a)-Ror 系は骨形成、創傷治癒、炎症といった生理機能を担う一方、近年、がんの浸潤・転移、薬剤耐性に関わることが明らかにされています。現在、がんの悪性進展や薬剤耐性における Ror の役割についての研究が本研究所の共同研究課題としても研究を進められています。

司会：松本邦夫（がん進展制御研究所・腫瘍動態制御）(6745)